

藤木大地 (カウンターテナー) *Daichi Fujiki. Countertenor*

【1080 文字】

2017 年、オペラの殿堂・ウィーン国立歌劇場にライマン『メデア』ヘロルドで鮮烈にデビュー。

東洋人のカウンターテナーとして初めての快挙で、大きなニュースとなる。2012 年、第 31 回国際ハンス・ガボア・ベルヴェデーレ声楽コンクールにてオーストリア代表として 2 年連続で選出、世界大会でファイナリストとなり、ハンス・ガボア賞を受賞。同年、日本音楽コンクール第 1 位。2013 年、ボローニャ歌劇場にてグルック『クレーリアの勝利』マンニオに抜擢されてヨーロッパデビュー。国際的に高い評価を得る。国内では、主要オーケストラとの公演や各地でのリサイタルが常に絶賛され、全国からのオファーが絶えない。

2017 年、ファーストアルバム「死んだ男の残したものは」をリリース。2018 年には、村上春樹原作の映画「ハナレイ・ベイ」の主題歌を担当、同時にメジャー・デビュー・アルバム「愛のよろこびは」(ワーナーミュージック・ジャパン) を発表。2020 年、東京文化会館にて企画原案・主演をつとめた新作歌劇『400 歳のキャストラート』が大成功をおさめた。また、新国立劇場 2020/21 シーズン開幕公演 ブリテン『夏の夜の夢』にオーベロンで主演、続けてバッハ・コレギウム・ジャパンとのヘンデル『リナルド』でもタイトルロールで登場し、主役としての圧倒的な存在感と温かみのある演唱が各誌で称賛され、オペラ歌手としての人気を不動のものにする。2021 年、3 枚目のアルバム「いのちのうた」をリリース。2022 年からは、自身がプロデューサーを務めた横浜みなとみらいホールでオーケストラ公演や室内楽公演を次々と企画。全国各地の劇場との連携事業や学生と共に創りあげる新作音楽劇を成功へ導くなど、その手腕に注目を集めた。

近年では、アメリカ 2 都市でのリサイタル (2024 年)、マカオ管弦楽団「マタイ受難曲」、調布国際音楽祭 2025 ヘンデル『ロデリンダ』ベルタリード、シンガポールでのリサイタル (2025 年)、新国立劇場 J.シュトラウス II 世『こうもり』オルロフスキー (2026 年) など世界各地で演奏活動を展開し、とりわけオルロフスキー役は随一の当たり役に挙げられる。

世界的にも例のない、全曲を無伴奏で収録した 2 枚のアルバム「A cappella」(テレビマンユニオン) のリリースと 5 都市ツアー、プロスポーツイベントでのセレモニー歌唱など、トップランナーと称されるにふさわしい唯一無二の活躍を続ける、日本が世界に誇る国際的なアーティストのひとりである。

京都市立芸術大学専任講師 (2026-)、大和高田さざんかホール レジデント・アーティスト (2024-)、横浜みなとみらいホール 初代プロデューサー (2021-2023)、洗足学園音楽大学客員教授 (2020-)。

宮崎県出身。みやざき大使。

Official Website : www.daichifujiki.com

【860 文字】

2017 年、オペラの殿堂・ウィーン国立歌劇場にライマン『メデア』ヘロルドで鮮烈にデビュー。東洋人のカウンターテナーとして初めての快挙で、大きなニュースとなる。2012 年、第 31 回国際ハンス・ガボア・ベルヴェデーレ声楽コンクールにてハンス・ガボア賞を受賞。同年、日本音楽コンクール第 1 位。2013 年、ボローニャ歌劇場にてグルック『クレーリアの勝利』マンニオでヨーロッパデビュー。国内では、主要オーケストラとの公演や各地でのリサイタルがいずれも絶賛を博している。新国立劇場 2020/21 シーズン開幕公演では ブリテン『夏の夜の夢』にオーベロンで主演、続けてバッハ・コレギウム・ジャ

パンとのヘンデル『リナルド』でもタイトルロールで登場し、主役としての圧倒的な存在感と温かみのある演唱が各誌で称賛され、オペラ歌手としての人気を不動のものにする。2021年、3枚目のアルバム「いのちのうた」をリリース。2022年からは、自身がプロデューサーを務めた横浜みなとみらいホールでオーケストラ公演や室内楽公演を次々と企画。全国各地の劇場との連携事業や学生と共に創りあげる新作音楽劇を成功へ導くなど、その手腕に注目を集めた。近年では、アメリカ2都市でのリサイタル（2024年）、マカオ管弦楽団「マタイ受難曲」、調布国際音楽祭2025 ヘンデル『ロデリンダ』ベルタリード、シンガポールでのリサイタル（2025年）、新国立劇場 J.シュトラウスII世『こうもり』オルロフスキー（2026年）など世界各地で演奏活動を展開し、とりわけオルロフスキー役は随一の当たり役に挙げられる。

世界的にも例のない、全曲を無伴奏で収録した2枚のアルバム「A cappella」（テレビマンユニオン）のリリースと5都市ツアー、プロスポーツイベントでのセレモニー歌唱など、トップランナーと称されるにふさわしい唯一無二の活躍を続ける、日本が世界に誇る国際的なアーティストのひとりである。

京都市立芸術大学専任講師（2026-）、大和高田さざんかホール レジデント・アーティスト（2024-）、横浜みなとみらいホール 初代プロデューサー（2021-2023）、洗足学園音楽大学客員教授（2020-）。

宮崎県出身。みやざき大使。

Official Website：www.daichifujiki.com

【740文字】

2017年、オペラの殿堂・ウィーン国立歌劇場にライマン『メデア』ヘロルドで鮮烈にデビュー。東洋人のカウンターテナーとして初めての快挙で、大きなニュースとなる。2012年、第31回国際ハンス・ガボア・ベルヴェデーレ声楽コンクールにてハンス・ガボア賞を受賞。同年、日本音楽コンクール第1位。2013年、ボローニャ歌劇場にてグルック『クレーリアの勝利』マンニオでヨーロッパデビュー。国内では、主要オーケストラとの公演や各地でのリサイタルがいずれも絶賛を博している。新国立劇場2020/21シーズン開幕公演では、ブリテン『夏の夜の夢』にオーベロンで主演、続けてバッハ・コレギウム・ジャパンとのヘンデル『リナルド』でもタイトルロールで登場し、主役としての圧倒的な存在感と温かみのある演唱が各誌で称賛され、オペラ歌手としての人気を不動のものにする。2021年には3枚目のアルバム「いのちのうた」をリリース。近年では、アメリカ2都市でのリサイタル（2024年）、マカオ管弦楽団「マタイ受難曲」、調布国際音楽祭2025 ヘンデル『ロデリンダ』ベルタリード、シンガポールでのリサイタル（2025年）、新国立劇場 J.シュトラウスII世『こうもり』オルロフスキー（2026年）など世界各地で演奏活動を展開し、とりわけオルロフスキー役は随一の当たり役に挙げられる。

世界的にも例のない、全曲を無伴奏で収録した2枚のアルバム「A cappella」（テレビマンユニオン）のリリースと5都市ツアー、プロスポーツイベントでのセレモニー歌唱など、トップランナーと称されるにふさわしい唯一無二の活躍を続ける、日本が世界に誇る国際的なアーティストのひとりである。

京都市立芸術大学専任講師（2026-）、横浜みなとみらいホール 初代プロデューサー（2021-2023）、洗足学園音楽大学客員教授（2020-）。

宮崎県出身。みやざき大使。

Official Website：www.daichifujiki.com

【560文字】

2017年、オペラの殿堂・ウィーン国立歌劇場にライマン『メデア』ヘロルドで鮮烈にデビュー。東洋人のカウンターテナーとして初めての快挙で、大きなニュースとなる。2012年、第31回国際ハンス・ガボア・ベルヴェデーレ声楽コンクールにてハンス・ガボア賞を受賞。同年、日本音楽コンクール第1位。2013年、ボローニャ歌劇場にてグルック『クレーリアの勝利』マンニオでヨーロッパデビュー。国内では、主要オーケストラとの公演や各地でのリサイタルがいずれも絶賛を博している。2021年、3枚目のアルバム「いのちのうた」をリリース。近年では、アメリカ2都市やシンガポールでのリサイタル、マカオ管弦楽団「マタイ受難曲」、調布国際音楽祭2025 ヘンデル『ロデリンダ』ベルタリード、新国立劇場 J.シュトラウス二世『こうもり』オルロフスキーなど世界各地で演奏活動を展開するほか、世界的にも例のない、全曲を無伴奏で収録した2枚のアルバム「A cappella」（テレビマンユニオン）のリリースと5都市ツアー、プロスポーツイベントでのセレモニー歌唱など、トップランナーと称されるにふさわしい唯一無二の活躍を続ける、日本が世界に誇る国際的なアーティストのひとりである。

京都市立芸術大学専任講師（2026-）、横浜みなとみらいホール 初代プロデューサー（2021-2023）、洗足学園音楽大学客員教授（2020-）。

宮崎県出身。みやざき大使。

Official Website：www.daichifujiki.com

【500文字】

2017年、オペラの殿堂・ウィーン国立歌劇場にライマン『メデア』ヘロルドで鮮烈にデビュー。東洋人のカウンターテナーとして初めての快挙で、大きなニュースとなる。2012年、第31回国際ハンス・ガボア・ベルヴェデーレ声楽コンクールにてハンス・ガボア賞を受賞。同年、日本音楽コンクール第1位。2013年、ボローニャ歌劇場にてグルック『クレーリアの勝利』マンニオでヨーロッパデビュー。国内では、主要オーケストラとの公演や各地でのリサイタルがいずれも絶賛を博している。近年では、アメリカ2都市やシンガポールでのリサイタル、マカオ管弦楽団「マタイ受難曲」、調布国際音楽祭2025 ヘンデル『ロデリンダ』ベルタリード、新国立劇場 J.シュトラウス二世『こうもり』オルロフスキーなど世界各地での演奏活動、全曲を無伴奏で収録した2枚のアルバム「A cappella」のリリースと5都市ツアー、プロスポーツイベントでのセレモニー歌唱など、トップランナーと称されるにふさわしい唯一無二の活躍を続ける、日本が世界に誇る国際的なアーティストのひとりである。

京都市立芸術大学専任講師（2026-）、横浜みなとみらいホール 初代プロデューサー（2021-2023）、洗足学園音楽大学客員教授（2020-）。

Official Website：www.daichifujiki.com

【310文字】

2017年、オペラの殿堂・ウィーン国立歌劇場にライマン『メデア』ヘロルドで東洋人初のカウンターテナーとしてデビュー。2012年、第31回国際ハンス・ガボア・ベルヴェデーレ声楽コンクールにてハンス・ガボア賞を受賞。同年、日本音楽コンクール第1位。2013年、ボローニャ歌劇場にてグルック『クレーリアの勝利』マンニオでヨーロッパデビュー。国内では、主要オーケストラとの公演や各地でのリサイタルがいずれも絶賛を博している。トップランナーと称されるにふさわしい唯一無二の活躍を続ける、日本が世界に誇る国際的なアーティストのひとりである。

京都市立芸術大学専任講師（2026-）、横浜みなとみらいホール 初代プロデューサー（2021-2023）、洗足

学園音楽大学客員教授（2020-）。

Official Website : www.daichifujiki.com

【200 文字】

2017 年、オペラの殿堂・ウィーン国立歌劇場にライマン『メデア』ヘロルド役で東洋人初のカウンターテナーとして鮮烈にデビュー。2012 年、第 31 回国際ハンス・ガボア・ベルヴェデーレ声楽コンクールにてハンス・ガボア賞を受賞。同年、日本音楽コンクール第 1 位。日本が世界に誇る国際的なアーティストのひとり。京都市立芸術大学専任講師（2026-）、横浜みなとみらいホール 初代プロデューサー（2021-2023）、洗足学園音楽大学客員教授（2020-）。

Official Website : www.daichifujiki.com

【145 文字】

2012 年、国際ハンス・ガボア・ベルヴェデーレ声楽コンクールでハンス・ガボア賞。同年、日本音楽コンクール声楽部門第 1 位。13 年ボローニャ歌劇場開場 250 周年記念のグルック『クレリアの勝利』マニオで国際的な評価を獲得。17 年にはライマン『メデア』ヘロルドでウィーン国立歌劇場に鮮烈なデビューを果たした。

【100 文字以内】

2017 年、オペラの殿堂・ウィーン国立歌劇場にライマン『メデア』ヘロルドで東洋人初のカウンターテナーとしてデビュー。国内では、主要オーケストラとの公演や各地でのリサイタルがいずれも絶賛を博している。

【50 文字以内】

2017 年、ウィーン国立歌劇場にライマン『メデア』ヘロルドで東洋人初のカウンターテナーとしてデビュー。